

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 田中 利和
札幌市中央区北2条西7丁目(かでる2・7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

新年のご挨拶



一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 田中 利和

新年あけましておめでとうござい
ます。新春を迎えるに当たり、謹ん
でご挨拶を申し上げます。

昨年6月の役員改選に伴い、藤田
会長の後任として、務めさせていた
だくことになりました。改めて、ど
うぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、物価の高騰が続く、特にコ
メ価格の高騰など諸物価の安定が見
通せず、長期化していることなど私
たちの生活にも直結する様々なこと
がありました。そうした中、大阪・関
西万博、世界陸上の開催そして、東京
2020デフリンピックにおける日本勢
の獲得メダル数が過去最多となった
こと等、明るい話題も見られました。

当協会においては、計画通りの事
業展開を進めることができ、9月に
は、全道身体障害者福祉大会を帯広
市で開催し、加盟団体の皆様や関係
者の皆様のご支援・ご協力により、
無事終了することができました。心
より感謝申し上げます。

今年は、9月28日(月)に札幌市
での開催を予定しております。北身
協では、事務局が鋭意準備を進めて
まいりますので、是非、多くの会員
の皆様にご参加いただきますよう
お願いいたします。

さて、最近の障がい者福祉を取り
巻く情勢として、一昨年「改正障害
者差別解消法」が施行され、努力義
務とされていた民間事業者におけ
る合理的配慮の提供が義務化され
る2年目を迎えており、今後、本法律
の実効性をより高めるためには、地
域において心のバリアフリーの理
解を深め普及していくことが、以前
にも増してますます重要となつて
おり、障がい理由とする差別の禁
止と合理的配慮が、当たり前のよう
に受け入れられる取組が一層、進展
することを期待しております。

新年を迎え、当協会といたしまし
ても障がいの有無にかかわらず、誰
もが安全安心に暮らせる地域共生
社会の実現に向けて、関係機関・団
体と一層連携し、障害者福祉施策や
法制度がより良いものとなるよう、
当事者の思いを反映できる取組を
進めてまいりたいと考えておりま
すので、会員の皆様方のご支援・ご
協力をお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして希望に
満ちた素晴らしい年になりますよう
心からお祈り申し上げます。新年のご
挨拶いたします。

謹んで新年のお慶びを
申し上げます。

加盟団体代表

根室地区	釧路地区	十勝地区	日高管内	胆振	網走地区	宗谷地区	留萌地区	上川地区	空知地区	後志地区	檜山地区	渡島地区	石狩支庁	盟団体代表	監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	副会長	会長
加藤	石田	齊藤	渡辺	堂前	木崎	東海	園田	伊賀	澤賀	山部	阿部	佐々木	三浦	石田	西澤	加藤	佐藤	須藤	齊藤	阿部	佐々木	白大	大田			
藤田	田	藤	辺	前	全	林	田	賀	川	部	橋	浦		川	田	藤	橋	佐藤	藤	部	藤	幡	橋	中		
正義	徹	夫	男	明	幸	治	聰	平	俊	夫	男	吉		陽	悦	俊	忠	理	喜	裕	俊	利				
強	義	徹	夫	男	明	幸	治	聰	平	俊	夫	男	吉	子	朗	平	強	男	子	徹	夫	人	浩	彦	和	

須佐理恵子	北海道支部 協会 日本オストミー	北海道視覚障害者福祉連合会 柿崎仁	小樽市	函館市	室蘭市	釧路市	帯広市	北見市	夕張市	岩見沢市	網走市	苫小牧市	美唄市	芦別市	江別市	紋別市	士別市	三笠市	根室市	千歳市	滝川市	砂川市	深川市	登別市	伊達市	北広島市	石狩市	北斗市
			白	石	笹	山	今	永	大	後	古	淀	中	西	藤	松	竹	花	江	井	小	小	白	田	住	政	浅	佐
			石	川	出	中	沼	橋	藤	田	川	川	田	田	村	田	田	尾	上	松	林	幡	中	田	田	田	藤	
			勝	陽	哲	岩	順	雄	俊	智	ス	悦	孝	昭	光	邦	義	昭	孝	利	一	秀						
美	子	夫	雄	子	逸	彦	子	聖	キ	稔	朗	郎	二	枝	則	清	則	夫	雄	浩	和	彦	林	美	勲	臣		

渡島地区身体障害者福祉協会 レクリエーション交流会

10月8日(水)、木古内町ファミリースポーツセンターにおいて、レクリエーション交流会が初開催されました。

2年に1度開催していたスポーツ大会に代わる試みとして、各町対抗戦ではなく、会員相互の親睦とスポーツに親しむ機会作りを目的として、各町男女混合によるチーム編成を作り、今回はポッチャによるゲームを行いました。当日は7町より選手・応援者64名が参加し、また、運営スタッフとして、木古内町・福島町役場職員、木古内町社協職員、木古内町身障協のご協力により、レクリエーション交流会を無事に終えることができました。



鈴木慎也木古内町長による
始球式・デモゲーム

来賓として、開催町の鈴木慎也木古内町長様にもお越しいただき、歓迎の挨拶やポッチャの始球式、さらにはデモゲームにもご参加いただき、鈴木町長の投球を見て、投球感覚を参考にする選手や「町長ライン踏んだから無効だね。」など、参加者から笑いの声が聞こえたり、会場は和やかな雰囲気の中、交流会が進められました。



それぞれの投球に一喜一憂したゲーム風景

今回は3名1組による合計18チームでゲームが行われ、中にはご夫婦で参加された会員もあり、決勝戦では夫婦が属するチーム同士が戦うこととなり、奥様がいたチームが見事優勝し、夫婦対決は奥様に軍配が上がりました。

初めてポッチャを体験する選手や運営スタッフがほとんどで、オリジナルのルールやコート作りを行い、不安のなかゲームが行われましたが、各町の参加者からは「楽しかったよ。」「またやりたいね。」などの声が聞かれ、笑顔で閉会式を迎えることができ、各町の会員との親睦や絆がより一層深められた一日となりました。

滝川身体障害者福祉協会

『見事な投球に歓声！』 ポッチャとモルツクの スポーツ教室

11月8日(土)、滝川市三世代交流センターで当協会主催の「ポッチャとモルツクのスポーツ教室」が開催され、会員18名が参加しました。



おなじみの競技「ポッチャ」

障がいのある無にかかわらず誰もが楽しめるスポーツを通じて、会員同士の親睦と交流を深めることを目的としたものです。

滝川市社会福祉協議会から尾西良介氏と岸波克夫氏を講師に迎え、午前はポッチャ、午後からモルツクに挑戦しました。

6チームに分かれて予選リーグと順位決定戦を行い、見事な投球や思わぬ展開で得点が逆転するなど、歓声と笑いが絶えず会場は終始盛り上がりしました。



狙いをさだめて、木製のスキttlを倒そう！

昼食の弁当を囲んだ懇親会も和やかな雰囲気の中で会話が弾みました。表彰式では、入賞者に賞品を贈呈し、全員に景品と役員手作りの豆ごはんが振る舞われました。スポーツを通じて交流が深まり、笑顔あふれる楽しい一日となりました。

道新コスモス奨学金 奨学生からの感謝の便り

北海道新聞社会福祉振興基金からの助成により、道内の特別支援学校高等部等から推薦のありました72名の生徒の皆様は給付しています。

今年度の奨学生からお便りが届きましたのでご紹介します。

※学年・お名前等は非公開とさせていただきます。

北海道高等聾学校①

今回、道新コスモス奨学金の奨学生として選考していただき、感謝しています。頂いた奨学金は、進路に関わる資格を取得するために、そして近い将来に、一人暮らしを始めるための費用に充てようと考えています。

私の家庭が経済的に厳しい状況にあるので、このような制度は、たいへん貴重であり、感謝すべき機会です。そのため、頂いた奨学金は、計画的かつ有意義に遣うつもりです。そして、これまで以上に、進路の実現のためにも、北海道高等聾学校専攻科での学業に励みます。奨学金の給付について、本当にありがとうございます。

北海道高等聾学校②

この度は、奨学金のご支援をいただきありがとうございます。奨学金は、模試や検定を受けたり、辞書や文房具を買い替えるために使わせていただきます。

私は、他の方よりも言葉遣いや言い回し、文章の構成に苦手なところがあります。なので、常に相手の気持ちを考えながら自分の考えをしっかりと伝えられる人になれるよう意識して努力をしていきたいと思っています。

職業体験では、指導してくださる担当の方の説明をよく聞き、後で自分自身が理解できるように分かりやすくメモにまとめる事、もし分からないことがあった時には、聞き直して確認すること。その他、人として大事な挨拶・返事・お礼をしっかりする事を身に付けられるように頑張ります。

奨学金の援助、本当にありがとうございます。

ありがとうございます。



北海道美深高等養護学校

あいべつ校

この度は奨学金をいただきありがとうございます。

私がこれから頑張りたい事は作業学習です。作業学習では調理と清掃などがあります。

調理ではカレーなどの料理を作っています。私はカレーに入れるあめ色玉ねぎとカレーに添えるきゅうりの醤油漬けを作っています。あめ色玉ねぎでは最初にフードプロセッサなどでみじん切りにするのでどうしたら効率良く作業出来るかを考えながら行なっています。きゅうりの醤油漬けではしょうがの千切りを細く丁寧に仕上げられるかを意識して作業しています。

清掃では主に教室清掃を行なっています。さまざまな仕事がありますが私が一番難しいと思ったのが窓清掃です。窓清掃ではウォッシュャーと言う道具を洗剤に付け窓を擦り汚れを落とします。その後にスクイージーと言う道具で洗剤を切ります。その後タオルで残った洗剤を拭き取ります。手が届かない所の洗剤の拭き取りが難しくポールと言う道具の先にタオルを付けて工夫しながら作業しています。

これからはより効率良く丁寧に作業出来るように工夫しながら頑張りたいです。

これらの作業学習を通して社会に出て働ける力を養うことが出来ると思っています。これからはより一層頑張っていきたいと思っています。

伊達身体障がい者福祉協会

令和7年11月5日(水)、伊達市民活動センターにて、パソコン教室を開催しました。

講師は、パソコンボランティアプラザ室蘭の西野美樹子氏と工藤恵美子氏に来ていただきました。



たくさんの方が参加してくれました。

今年で3回目となるパソコン教室ですが、今までは作品づくりが主だったこともあり、今年はパソコン操作の技術力アップに力を入れ、エクセルを使ってカレンダーを作りました。写真を持参してきた方もいましたが、好きなイラストや画像を思い思いに使って、オリジナル作品ができあがりました。お互いの作品を見せ合いながら会話が弾み、親睦や交流のひとつにもなりました。

「ジパング倶楽部」 年度末の取り扱いについて

日頃より、JRジパング倶楽部の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来たる3月(年度末)の取り扱いについて、左記のとおりとなりますので、よろしくお願いいたします。更新の時期になる方は早めの手続きをお願いします。

◆年度末受付締切日

令和8年3月13日(金)

※書類・入金必着

◆新年度受付開始日

令和8年4月1日(水)



会員手帳
更新手帳(左・色は緑)と
新規会員(右・色は赤)

賛助会員の皆様へ

心より感謝申し上げます。

「障害者の福祉の向上に寄与する」という本協会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

◆社会福祉法人岩見沢光明舎様

◆有限会社野坂義肢製作所様

(令和7年11月末日迄分)

令和8年度の行事予定

◆北身協総会

令和8年6月11日(木)

13時30分〜

◆事務担当者会議

令和8年8月6日(木)

13時30分〜

◆全道身体障害者福祉大会(札幌市)

令和8年9月28日(月)

※詳細については、決まりしだいご連絡いたします。

市・地区・町村協会からの 記事をお待ちしています。

各協会会員の皆様におかれましては新年度の事業計画などを立てている時期かと思えます。各地域の福祉活動・スポーツ活動・研修会・講習会等の様子や独自の取り組みなど「北海道身体障害者新聞」に掲載させていただきたく、皆様から記事の投稿をお待ちしております。写真も添付していただくと大変助かります。



公益財団法人北海道対がん協会

会長 加藤 元嗣

事務局・札幌がん検診センター

札幌市東区北26条東14丁目1-15

電話011(748) 5511

旭川がん検診センター

旭川市末広東2条6丁目6番10号

電話0166(53) 7111

釧路がん検診センター

釧路市愛国東2丁目3番1号

電話0154(37) 3370

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所

代表取締役 関 喬

札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(〇一一)二四一〇九八六番

有限会社 野坂義肢製作所

札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一一)二二一四〇六番

株式会社 馬場義肢製作所

函館市豊川町一五〇一七 〇三三八三二一六五番
札幌市北区太平七条二丁目 〇二二七七四一〇三番
室蘭市母恋北町二の三六 〇二四三二二五九番
釧路市富士見一の五の九 〇二四四一三五六番

株式会社 田村義肢製作所

札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一一)代〇二七七七番
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一五)二七二四八九番

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーフル元町1F

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目-1

室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 ヒルビル

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社

札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

- ◆障害者支援施設
- ◆障害福祉サービス事業所
- ◆特別養護老人ホーム
- ◆障害児通所支援事業
- ◆救護施設 他

施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい

社会福祉法人 北海道光生舎

☎079-1135

赤平市錦町2丁目6番地

TEL 0125-32-3221



ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光生ビル
TEL 〇一一七四八六二二〇
FAX 〇一一七四八六二二一



バッグの製作・修理等・革製品で お困りの方はご相談ください 砂川つばさ

NPO 法人
砂川市東五条南四丁目二一十二
F 電話(〇一一)二五五二八三六
A 電話(〇一一)二五五二八三六
X 電話(〇一一)二五五二八三六

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目三二一五五〇番
電話代表(〇一二)二二二一五五〇番

社会福祉法人 北海道宏栄社

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 〇一三四二二五一一五五
FAX 〇一三四二二九一三二八四